

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第55号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成21年3月19日 08時00分ごろ	
発生場所	沖縄県那覇港新港地区 <sup>とまり</sup> 泊ふ頭 (概位 北緯26°13.4' 東経127°41')	
事故等調査の経過	平成21年7月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 フェリー <sup>あくに</sup> 栗国、451トン	
船舶番号、船舶所有者等	133770、沖縄県離島海運振興株式会社・栗国村	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷ランプドア先端部に凹損	
事故等の経過	本船は、船長ほか10人が乗り組み、那覇港泊ふ頭の岸壁にランプドアを開放する際、ランプドア開閉用ワイヤー巻き上げ機のドラムに巻き上げられたワイヤーに弛みがあったため、通常、ランプドアを開放する場合よりも速い速度でワイヤーが繰り出され、平成21年3月19日08時00分ごろ同ドア先端部が岸壁に過大な速度で接触した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 2、視界 良好	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、那覇港の岸壁に係留中、ランプドアを開放する際、ランプドア開閉用ワイヤーのドラムへの巻き取り状態の確認を適切に行わなかったため、通常よりも速い速度でワイヤーが繰り出されてランプドアが岸壁に接触したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が那覇港の岸壁に係留中、ランプドアを開放する際、ランプドア開閉用ワイヤーのドラムへの巻き取り状態の確認を適切に行わなかったため、ワイヤーの弛みにより、通常よりも速い速度でワイヤーが繰り出されて、ランプドアが岸壁に接触したことにより発生したものと考えられる。	